

かがやけ



五小っ子

いのち

第34号 令和4年 1月21日

文責: 第五小学校 校長 野中邦明

いつでも どこでも だれにでも

大きな声で 自分から

安中大好き!

生命を大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成
～ すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくまさいっぱい ～

ご承知の通り、長崎県にもふたたび『まん延防止等重点措置』が発令されました。それに伴い、島原市の感染レベルも、本日より『レベル2』へ引き上げられました。(9月27日以来です)

そこで、改めて次の点について保護者の皆様方へ、ご協力をお願いします。

- ① **お子さんの確実な検温**
(非接触型の温度計よりも体温計が正確)
- ② **ご家族全員の健康観察**
(チェックカードに確認がなければ担任から再確認の連絡を差し上げます。)
- ③ **ご家族の中に体調不良の方がいらっしゃれば、登校を見合わせてください。**

県民の皆様へ

県外往来について

▶ 県外との**不要不急の往来を控える**

外出について

▶ 長崎市・佐世保市(重点措置予定区域)では**不要不急の外出を控える**

▶ その他の地域でも極力外出(特に長崎市・佐世保市への外出)を控える

会食について

▶ 感染防止対策の徹底されたコロナ対策認証店を利用

▶ 普段一緒にいる方と、**4人以内かつ2時間以内**で

※ワクチン・検査パッケージの適用による人数制限緩和については、国における最新の見解を踏まえて検討

▶ 会食の際もマスクを外したままの会話は控える

知事記者会見(令和4年1月18日)より

もうすぐ節分ですね。

節分とは・・・【まめ知識編】

節分といえば「2月3日」に固定されているものだと思っていました。しかし、節分のことをネットで調べているうちにそうではない時もあり、その年によって違いが出るものだということがわかりました。今年の節分は2月3日(木)でした。

日本には、立春・立夏・立秋・立冬などが代表するような季節を表す二十四節季と呼ばれる、古くから親しまれてきた季節感があります。春夏秋冬の季節の変わり目は重要な日とされており、季節の変わる最終日をすべて『節分』と呼びます。というわけで、実は、一年間に節分の日は4回あるのですが、一年の始まりである立春(旧暦のお正月)を迎える前日に、清め新しい年を迎えよるための儀式として『節分』の行事を行うようになったそうです。現代の節分といえば「豆まき」以上に『恵方巻』を食べるといのが有名で親しみやすいものとして広がっているようです。(今年は、私もスーパーかコンビニで予約をしようかと考えています)

恵方巻の食べ方を調べてみると・・・

- 1 恵方を向いて食べる → 2022年は「北北西やや北」らしい!
- 2 恵方巻は黙って食べる → 途中で喋ってしまうと福が逃げてしまうらしい!!
- 3 恵方巻は一気に食べる → 縁を切らないようにという意味が込められているらしい!!!

この3つを全てクリアするのはなかなか難しそうで、そう簡単に

ご利益を得ることはできないのかもしれないですね。



令和3年度 島原市PTA連合会研修会

1月22日(土)に開催予定の研修会でしたが、残念ながら中止となりました。参加を希望して下さっていた保護者の皆様(特に研修委員会の皆様)には申し訳なく思います。実践発表者についてのみご紹介します。

- ①「共同から協働へ～子どもを軸にした大人の絆づくり～」
湯江小学校PTA 荒木義文様、稲田有樹様
- ②「『白山っ子』とともに、育友会と地域の学び合いそして協働」
～白山を愛し、白山を担う子どもの育成をめざす育友会活動～
第三小学校育友会 鈴木智詞様、羽田哲雄様
- ③「コロナ禍でも歩み続ける育友会活動」
～共に鍛えて共に進まん 共に学びて共に勤めん～
第一中学校 下田和人様、古賀博明様

